

Salesforce.Mule-Dev-202.v2026-03-16.q23

試験コード:	Mule-Dev-202
試験名称:	Salesforce Certified MuleSoft Hyperautomation Developer
認定資格:	Salesforce
無料問題数:	23
バージョン:	v2026-03-16
アクセス数:	125
ページビュー数:	230
https://www.jpnpdf.com/Salesforce.Mule-Dev-202.v2026-03-16.q23-mondaishu.html	

最新問題: 1

現在の日時は2022年9月28日午前9時です

単一のセキュリティ保護されたセッションで実行されるプロセスは、2022年9月28日午前10時に開始され、45分ごとに実行されるようにスケジュールされています。

プロセスを初めて実行したときに完了するまでに1時間かかる場合、2回目はいつ実行されますか？

- A. 2022年9月28日午前11時30分
- B. 2022年9月28日午前10時45分
- C. 最初の実行が完了した後
- D. 2022年9月28日午前10時30分

Answer: C (メッセージを残す)

単一のセキュリティ保護されたセッションで実行されるプロセスは、午前10時に開始され、45分ごとに実行されるようにスケジュールされています。

プロセスが初めて完了するまでに1時間かかる場合、プロセスは単一のセキュリティ保護されたセッション内にあるため、現在の実行が終了した後にのみ次の実行が開始されます。

初回実行:

午前10時開始予定

完了まで1時間かかり、午前11時に終了します

次回実行:

最初の実行には1時間かかるため、次の実行は最初の実行が完了した後にのみ開始できません。

次の実行は、最初の実行の完了から45分後、つまり午前11時+45分=午前11時45分に開始されます。

したがって、このプロセスは午前11時45分に2回目に実行されます。

参考文献:

最新問題: 2

Salesforce フローは、データを取得するために、Northern Trail Outfitters (NTO) および AnyAirlines が提供する外部 API に接続する必要があります。

外部 API に接続するには、どの 3 つの手順を実行する必要がありますか? (3 つ選択してください。)

- A. Action 要素を使用して、Salesforce フローで適切な API を呼び出して使用します。
- B. Salesforce で NTO および AnyAirlines 用の外部サービスを作成します。
- C. NTO および AnyAirlines の Anypoint で名前付き認証情報を作成します。
- D. 仮想サービスを使用して、Salesforce フローで適切な API を呼び出して使用します。
- E. Salesforce で NTO および AnyAirlines 用の名前付き認証情報を作成します。

Answer: A,B,E (メッセージを残す)

Salesforce フローを外部 API に接続するには、次の手順に従います。

Salesforce で名前付き認証情報を作成します。

SalesforceのNamed Credentialsは、外部サービスの呼び出しに必要なURLと認証情報を保存することで、認証プロセスを簡素化します。NTO APIとAnyAirlines APIの両方にNamed Credentialsを設定してください。

Salesforce の [セットアップ] > [名前付き認証情報] > [新しい名前付き認証情報] に移動します。

エンドポイント URL や認証設定など、NTO API の詳細を入力します。

AnyAirlines API に対してこのプロセスを繰り返します。

Salesforce で外部サービスを作成します。

外部サービスを使用すると、外部 API を Salesforce に登録して、フローから呼び出すことができるようになります。

Salesforce の [設定] > [外部サービス] > [新しい外部サービス] に移動します。

NTO および AnyAirlines が提供する OpenAPI/Swagger または RAML 仕様ファイルを使用して、API を登録します。

このステップでは、フロー内で使用される API 仕様のインポートとサービスの構成を行います。

Salesforce フローでアクション要素を使用する:

Salesforce Flow 内で、アクション要素を使用して、登録された外部サービスを呼び出します。

これには、フローにアクションを追加し、呼び出す API メソッドに対応する適切な外部サービス アクションを選択することが含まれます。

参考文献:

Salesforce 外部サービスドキュメント

Salesforce 指定認証情報ドキュメント

最新問題: 3

AnyAirlines の MuleSoft 開発者は、外部システムから顧客データを取得したいと考えています。

新しい統合を設計する前に、統合が存在し、再利用できるかどうかを判断するために何を使用する必要がありますか？

- A. デザインセンター
- B. エニポイントスタジオ
- C. エニポイントエクステンジ
- D. MuleSoft コンポーザー

Answer: ([解答を表示する](#))

統合が存在し、再利用できるかどうかを確認するには、MuleSoft 開発者は Anypoint Exchange を使用する必要があります。

エニポイントエクステンジ:

Anypoint Exchangeは、開発者がAPI、コネクタ、テンプレート、サンプルなどの再利用可能なアセットを公開、共有、検索できるリポジトリです。MuleSoftエコシステム内のすべての再利用可能なコンポーネントを一元的に管理する場所として機能します。

Anypoint Exchange を検索することで、開発者は顧客データの取得要件を満たす可能性のある既存の統合またはアセットを見つけることができ、新しい統合をゼロから設計および開発する必要がなくなります。

参考文献:

Anypoint Exchange ドキュメント

最新問題: 4

AnyAirlinesは、獲得したロイヤルティポイントに応じて毎月顧客に特別オファーを送信する新しいマーケティングキャンペーンを作成したいと考えています。顧客データは、MuleSoftのAPI主導の3層戦略を使用して既に統合されています。ロイヤルティ情報は外部システムに保存されており、システムが提供するHTTPエンドポイント経由でアクセスできますが、現在は統合されていません。使用される外部IDはメールアドレスです。必要な出力は、ロイヤルティポイント保有者の上位 10% のみを含む顧客を含む CSV ファイルです。

この要件を満たす最も効率的な方法は何ですか？

- A. 1. MuleSoft チームに、ロイヤルティ システムへのシステム API を含み、既存の顧客システム API を使用する新しい統合を開発してもらいます。2. 最終結果を出力するプロセス API を作成します。3. ビジネス コンシューマーが統合を開始するためのエクスペリエンス API を作成します。
- B. 1. 現在の顧客統合を利用してすべての顧客を選択する MuleSoft Composer フローを作成します。2. すべてのロイヤルティ情報を取得する追加の MuleSoft Composer フローを作成します。3.

前の 2 つの結果を組み合わせて上位 10 パーセントを CSV ファイルに出力する MuleSoft Composer フローを作成します。

C. 1. MuleSoft チームに、顧客システムと Loyally システムの両方への新しいシステム API を含む新しい統合を開発してもらいます。2. 最終結果を出力するプロセス API を作成します。3. ビジネス コンシューマーが統合を開始するためのエクスペリエンス API を作成します。

D. 1. 連絡先データを取得する Salesforce フローを作成します。2. ロイヤルティデータを取得する Salesforce フローを作成します。3. 2 つのフローを使用して結果を CSV ファイルに出力するフロー オーケストレーションを作成します。

Answer: ([解答を表示する](#))

ロイヤルティシステム用システムAPIの開発：最初のステップは、ロイヤルティシステムと統合する新しいシステムAPIを開発することです。このAPIは、提供されたHTTPエンドポイントを介して外部システムとの通信を処理します。

参考:MuleSoft API主導の接続

既存の顧客システムAPIの活用：顧客データ用の既存のシステムAPIを使用して、必要な顧客情報を取得します。これらのAPIを組み合わせることで、モジュール式のアプローチと既存資産の再利用が実現します。

参考:API主導の接続性

プロセスAPIの作成：顧客APIとロイヤルティシステムAPIの両方からのデータを組み合わせるプロセスAPIを開発します。このAPIは、データを処理し、ビジネスロジックを適用してロイヤルティポイント保有者の上位10%をフィルタリングし、結果をフォーマットします。

リファレンス:プロセスAPIの設計

Experience APIの作成：ビジネスコンシューマー向けのExperience APIを開発します。このAPIは、統合を開始し、結果をCSVファイルとして取得するためのユーザーフレンドリーなインターフェースを提供します。

リファレンス:API エクスペリエンス レイヤー

最新問題: 5

Anypoint Platform のどのコンポーネントが API ポリシーの適用を担当しますか？

- A. API 分析
- B. API ランタイム
- C. APIゲートウェイ
- D. API マネージャー

Answer: ([解答を表示する](#))

API ポリシーの適用を担当する Anypoint Platform のコンポーネントは、API ゲートウェイです。

APIゲートウェイ:

API Gatewayは、APIに適用されたポリシーを強制するランタイムコンポーネントです。API Managerで設定されたポリシーを適用することで、APIトラフィック、セキュリティ、パフォーマンスを管理する仲介役として機能します。

レート制限、セキュリティ、変換、監視などのポリシーが API ゲートウェイで適用され、API が安全かつ効率的にアクセスされることが保証されます。

参考文献:

Anypoint Platform API ゲートウェイのドキュメント

最新問題: 6

Northern Trail Outfitters は、MuleSoft が推奨する API 主導の接続アプローチに従い、次の要件を満たすアプリケーション ネットワークを開発する必要があります。

モバイルおよびWebインターフェースにデータを提供する

データを集約し変換する

データベースからデータを取得する

データの集約と変換はどの API 層で行う必要がありますか?

- A. 経験
- B. プロセス
- C. ビジネス
- D. システム

Answer: ([解答を表示する](#))

API主導の接続性 :MuleSoftのAPI主導の接続性アプローチでは、APIをシステム、プロセス、エクスペリエンスの3つの層に分割します。各層は、データとオペレーションの管理において特定の役割を担います。

参考:MuleSoft API主導の接続

エクスペリエンスAPI :これらのAPIは、モバイルアプリケーションやWebアプリケーションなどのエンドユーザーインターフェースにデータを提供するために設計されています。

通常、データはユーザーインターフェースが利用しやすい形式にフォーマットされます。

リファレンス:エクスペリエンス API 定義

プロセスAPI :プロセスAPIは、ビジネスロジックのオーケストレーションと実行を担います。複数のソースからデータを集約、変換、処理し、エクスペリエンスAPIやその他の下流システムに渡します。

リファレンス:プロセスAPIロール

システムAPI :これらのAPIは、コアシステムとデータソースへの直接アクセスを提供します。CRUD（作成読み取り、更新、削除）操作を処理し、基盤となるシステムからデータを公開します。

参照:システムAPIロール

データの集約と変換 :データの集約と変換の要件を考慮すると、プロセス層が適切な場所です。プロセスAPIは複雑なビジネスロジックとデータ変換を処理するため、複数のソースからデータを集約し、必要に応じて変換するのに最適です。

リファレンス:プロセスAPIとデータ変換

最新問題: 7

Flow Builder の実行モードとデバッグ モードの違いは何ですか?

- A. デバッグ モードでは、フローのデバッグの詳細が表示されます。
- B. デバッグ モードでは、AI を使用してフロー内のバグを修正します。
- C. 実行モードでは、フローの最新バージョンが使用されます。
- D. 実行モードはアクティブなフローに対してのみ使用できます。

Answer: A (メッセージを残す)

Flow Builder では、実行モードとデバッグ モードにはそれぞれ異なる機能があります。

実行モード:

フローをそのまま実行し、最後に保存したバージョンに基づいてエンドツーエンドの実行を確認できます。

通常、通常の条件下でフローが期待どおりに機能することを確認するために使用されます。

デバッグモード:

入力データと出力データ、発生したエラーなど、フロー内の各ステップの詳細情報を提供します。

フロー内の問題のトラブルシューティングと特定に役立ち、開発者はフローの実行方法と問題が発生する可能性のある場所を理解できます。

デバッグ モードは、フローの実行を詳細に表示することで、問題の診断と修正を支援するために特別に設計されています。

参考文献:

Salesforce フロービルダーのドキュメント

最新問題: 8

Northern Trail OutfittersのMuleSoftチームは、開発者がAnypoint StudioでAPI実装を作成する際の出発点として使用できるプロジェクトスケルトンを作成したいと考えています。これにより、チーム内でベストプラクティスを一貫して活用できるようになります。

プロジェクト スケルトンを公開するには、どのタイプの Anypoint Exchange アーティファクトを Exchange に追加する必要がありますか？

- A. API実装間で再利用されるRAMLトレイル定義
- B. デフォルトのAPI実装を持つカスタムアセット
- C. 主要コンポーネントを含む MuleSoft アプリケーション テンプレート
- D. ベストプラクティスに従ったAPI実装の例

Answer: C (メッセージを残す)

開発者が Anypoint Studio を使用した API 実装の開始点として使用できるプロジェクト スケルトンを作成するには、MuleSoft アプリケーション テンプレートを使用するのが最適です。

MuleSoft アプリケーション テンプレート:

MuleSoft アプリケーションテンプレートには、ベストプラクティスに準拠した主要コンポーネントと構成が含まれています。これにより、新しいプロジェクトに一貫した出発点が提供され、すべての開発者が同じ標準に準拠できるようになります。

利点:

テンプレートを使用すると、ベストプラクティスの実施、新しいプロジェクトのセットアップ時間の短縮、さまざまな実装間の一貫性の確保に役立ちます。

Anypoint Exchange への公開:

テンプレートを作成したら、Anypoint Exchange に公開して開発チーム全員がアクセスできるようにします。開発者はこのテンプレートを使用して API プロジェクトを開始できるため、組織全体で統一されたアプローチを確保できます。

参考文献:

Anypoint Exchange テンプレートのドキュメント

最新問題: 9

Northern Trail Outfittersは、CSVファイルからの売上データの抽出を自動化するために、MuleSoft RPAプロセスを導入しました。このRPAプロセスをSales Cloudと統合するために、MuleSoft Composerフロー内でこのRPAプロセスを呼び出すアクションステップが作成されます。

RPA プロセスの結果を活用するには、フローにどの次のステップを追加する必要がありますか?

- A. Sales Cloud のレコード作成アクション
- B. If/Elseブロック
- C. Sales Cloud でのレコードの作成または更新アクション
- D. For Each ループ

Answer: C ([メッセージを残す](#))

MuleSoft Composer を使用して CSV ファイルから販売データを抽出する RPA プロセスを Sales Cloud と統合するには、次の手順を実行する必要があります。

RPA プロセスを呼び出す:

MuleSoft Composer フローに、RPA プロセスを呼び出して CSV ファイルから販売データを抽出するアクションステップを作成します。

次のステップ - レコードの作成または更新:

RPA プロセスが完了し、抽出されたデータが返されたら、フローの次のステップでは、新しい情報で Sales Cloud を更新する必要があります。

「レコードの作成または更新」アクションを使用して、新しい売上データをSales Cloudに挿入します。このアクションにより、既存のレコードが存在する場合は更新され、存在しない場合は新しいレコードが作成されます。

このアプローチにより、RPA プロセスの結果が Sales Cloud に正しく反映されます。

参考文献:

MuleSoft Composer ドキュメント

Salesforce Sales Cloud ドキュメント

最新問題: 10

AnyAirlines の Salesforce 管理者は、Salesforce コネクタの「レコードを取得」アクションを使用して、一意の ID に基づいてレコードを取得する MuleSoft Composer フローを構築します。このフローの結果を使用して Slack メッセージを送信します。彼らはどうやってこの課題を達成できるのでしょうか？

- A. 1. Salesforce アクションステップの後に Slack アクションステップを追加します。2. Salesforce レコードのコレクションの最初のレコードを使用してメッセージを作成します。
- B. 1. Salesforce アクションステップの後に For Each ループを追加し、Salesforce レコードのコレクションを反復処理します。2. Slack アクションステップを使用して、処理中のレコードからメッセージを構築します。
- C. 1. Salesforce アクションステップの後に、Salesforce アクションステップが正確に1つのレコードを返したかどうかを確認する分岐を含む If/Else ブロックを追加します。2. 分岐に Slack アクションステップを追加し、レコードを使用してメッセージを構築します。
- D. 1. Salesforce アクションステップの後に Slack アクションステップを追加します。2. レコードを使用してメッセージを構築します。

Answer: D (メッセージを残す)

Salesforce アクションステップ :まず、「レコードを取得」アクションを使用して一意の ID に基づいてレコードを取得する Salesforce アクションステップを追加します。このアクションは、必要な特定のレコードを取得します。

参考:MuleSoft Composer Salesforce コネクタ

Slack アクションステップを追加 :レコードを取得したら、Slack アクションステップを追加します。このステップは、Slack にメッセージを送信するために使用されます。

参考:MuleSoft Composer Slack コネクタ

レコードの使用 : 取得したレコードを直接 Slack アクションステップのメッセージに使用します。これにより、メッセージに Salesforce レコードの関連情報が含まれるようになります。

参考:Composer でのメッセージの作成

コレクション処理の必要はありません:レコードの取得アクションは一意の ID に基づいて単一のレコードを取得するため、コレクションを処理したり、レコードを反復処理したりする必要はありません。

参照:レコード取得アクション

最新問題: 11

Northern Trail Outfitters は、2つの Salesforce 組織間で双方向のデータ同期を実行したいと考えています。両システム間でリアルタイム更新を実行し、どちらかのシステムが更新されると、もう一方のシステムも新しいデータで自動的に更新されるようにしたいと考えています。

この要件を満たすために必要な MuleSoft Composer フローの最小数はいくつですか？

- A. 3

- B. 1
- C. 2
- D. 4

Answer: C (メッセージを残す)

MuleSoft Composer を使用して 2 つの Salesforce 組織間の双方向同期を実現するには、少なくとも 2 つのフローが必要になります。

フロー 1: 組織 A から組織 B への同期: このフローは、組織 A の変更を監視し、変更が発生するたびに新しいデータで組織 B を更新します。

フロー 2: 組織 B から組織 A への同期: 同様に、このフローは組織 B の変更を監視し、変更が発生するたびに新しいデータで組織 A を更新します。

この設定により、いずれかの Salesforce 組織での変更がもう一方に反映され、2 つのシステム間でリアルタイムの同期が維持されます。

Salesforce 向け MuleSoft Composer

最新問題: 12

Northern Trail Outfittersは、メーカーのリポートを検索するためのAPIを開発しました。このAPIは、ウェブサイトのバックエンドと、カスタマーサービス担当者が使用するRPAブーツによって内部的に使用されます。

この API を組織内でどのように共有すればよいのでしょうか？

- A. API の RAML 仕様は、SharePoint リポジトリに保存する必要があります。
- B. API アセットはプライベート Exchange ポータルに公開する必要があります。
- C. サンプルアセットはプライベート Exchange に公開する必要があります。
- D. API アセットはパブリック Exchange ポータルに公開する必要があります。

Answer: B (メッセージを残す)

組織内で API を効果的に共有するには、API アセットをプライベート Exchange ポータルに公開するのが最善の方法です。

プライベート交換ポータル:

MuleSoft Anypoint Platform 内のプライベート Exchange ポータルは、組織内で API、コネクタ、テンプレート、その他のアセットを共有するために設計されています。関係するすべてのチームと部門がアクセスできる中央リポジトリを提供します。

アクセス制御とセキュリティ:

プライベート Exchange を使用すると、API へのアクセスを制御し、Web サイトのバックエンド チームや RPA ボットを使用するカスタマー サービス担当者などの承認された内部ユーザーのみが API を使用できるようにすることができます。

使いやすさ:

プライベート Exchange に公開すると、内部チームが API を簡単に検出、アクセス、再利用できるようになり、一貫性が促進され、作業の重複が削減されます。

参考文献:

MuleSoft Anypoint Exchange ドキュメント

最新問題: 13

Northern Trail Outfittersは、小売POSシステム、モバイルストア、オンラインストア、そして戦略的なB2B eコマースパートナーで利用できる、ほぼリアルタイムの在庫APIを作成する必要があります。このAPIは、正確かつ最新の製品在庫レベルを提供する必要があります。現在、データはSAPとNetSuiteの両方に保存されています。

ベストプラクティスによれば、このソリューションを構築するにはどのハイパーオートメーション ツールを使用する必要がありますか？

- A. Salesforce フロー
- B. MuleSoft Composer
- C. MuleSoft RPA
- D. Anypoint プラットフォーム

Answer: ([解答を表示する](#))

SAP と NetSuite のデータを統合し、さまざまなプラットフォームやパートナーで使用できるほぼリアルタイムの在庫 API を作成するには、Anypoint Platform が最適なツールです。

Anypoint プラットフォーム:

Anypoint Platform は、リアルタイムのデータ処理、API 管理、SAP や NetSuite などのさまざまなシステムへの接続など、包括的な統合機能を提供します。

ほぼリアルタイムのデータ同期を処理できる堅牢でスケーラブルな API の構築をサポートし、複数のチャンネルにわたって正確で最新の在庫レベルを保証します。

ベストプラクティス:

Anypoint Platform を使用すると、エンタープライズ統合のベストプラクティスに従い、セキュリティ、パフォーマンス、監視をきめ細かく制御しながら API を設計および管理できます。

参考文献:

Anypoint Platform ドキュメント

最新問題: 14

Northern Trail Outfitters は、MuleSoft Composer を使用して 2 つの Salesforce 組織間の統合を開発しました。

Composer フローをテストする前に実行する必要がある 2 つのアクションはどれですか (2 つ選択してください)。

- A. ソース組織とターゲット組織の両方に MuleSoft Composer がインストールされていることを確認します。
- B. アクション ステップが Salesforce のサンドボックス インスタンスに接続されていることを確認します。
- C. フロートリガーが Salesforce のサンドボックスインスタンスに接続されていることを確認します。
- D. 対象の本番組織への資格情報がまだ有効であることを確認します。

Answer: B,C ([メッセージを残す](#))

最新問題: 15

Northern Trail Outfittersは、フローオーケストレーションの各ステージの終了基準について複数の基準を評価しています。その基準に基づき、フローを3つのパスのいずれかに分岐させることを目指しています。

この要件を満たすには、Flow Orchestration でこれをどのように構築すればよいでしょうか？

- A. 評価フローを使用して、現在のステージの終了基準を決定します。次に、別の評価フローを使用して、3つのパスそれぞれの開始基準を決定します。
- B. 評価フローで数値変数を返し、決定要素を使用して実行するパスを決定します。
- C. 2つの評価フローを作成し、最初の評価フローが false を返す場合は2番目の評価フローを実行します。
- D. 評価フローの最初の2つのパスの基準を評価します。次に、3番目のパスに対して決定要素のデフォルトのパス機能を使用します。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

フローオーケストレーションで複数の基準に基づいて分岐ロジックを実装するには、次の方法を使用できます。

評価フローは数値変数を返します:

現在のステージの終了基準を評価し、どのパスを取るかを示す数値変数 (例: 1、2、3) を返す評価フローを作成します。

決定要素:

フローオーケストレーションの決定要素を使用して、評価フローによって返される数値変数を評価します。

変数の値に基づいて、決定要素は次に実行するパスを決定します。

このアプローチにより、明確で保守しやすい分岐ロジックが可能になり、定義された基準に基づいてフローが3つのパスのいずれかに進むことができるようになります。

参考文献:

Salesforce フローオーケストレーションのドキュメント

最新問題: 16

AnyAirlinesは、RPAプロセスへのアクセスを提供する新しいREST APIをリリースしました。RPAプロセスは、1秒あたりに限られた数のインタラクションしか処理できず、それを超えるとAPIがエラーを返すようになります。

APIが過負荷になるのを防ぐために、AnyAirlinesはどのポリシーを適用する必要がありますか？

- A. JSON脅威保護
- B. レート制限 - SLA
- C. スパイクコントロール
- D. クライアントIDの強制

Answer: ([解答を表示する](#))

APIの過負荷を防ぐには、Spike Controlポリシーが適しています。このポリシーは、リクエストの処理レートを制限することで、突発的なトラフィックの急増に対応します。仕組みは以下のとおりです。

過負荷の防止:

Spike Control は、短時間でレート制限を適用することで着信リクエストのバーストを平滑化し、過剰なトラフィックによるバックエンドシステムの過負荷を防ぎます。

構成:

Spike Control ポリシーを API に適用して、特定の期間内に許可されるリクエストの最大数を定義します。

これにより、API が 1 秒あたりに処理できるインタラクション数が制限され、過負荷によるエラーを防ぐことができます。

実装:

Anypoint Platform で、Spike Control ポリシーを必要なしきい値に設定し、RPA プロセスがエラーなく負荷を効果的に処理できるようにします。

参考文献:

Anypoint Platform Spike Control ドキュメント

有効な **Mule-Dev-202** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい Mule-Dev-202 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **Mule-Dev-202** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com Mule-Dev-202 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com Mule-Dev-202 問題集をゲットする人はこちら:

<https://www.goshiken.com/Salesforce/Mule-Dev-202-mondaishu.html> (**6230%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

Northern Trail Outfitters (NTO) は、既存の MuleSoft 以外の API を公開する必要がある新しいビジネスチャネルを持っています。Anypoint Flex Gateway は導入されていません。NTO デジタル チャネル チームは、Anypoint Platform を API 管理ツールとして活用したいと考えています。

バックエンドシステムを保護するための最も時間効率の高いメカニズムは何ですか？

- A. MuleSoft を使用して既存の API を書き換えます。
- B. 既存の各 API の前にプロキシを作成します。
- C. 各エンドポイントを基本エンドポイントとして公開します。
- D. 構成されたコンシューマー エンドポイントを持つ基本エンドポイントを使用します。

Answer: B (メッセージを残す)

Anypoint Platform を使用して既存の非 MuleSoft API を公開し、効率的にセキュリティを確保するには、API プロキシを作成します。このアプローチには、いくつかの利点があります。

API プロキシの作成:

プロキシを作成するには、既存のバックエンドAPIにリクエストを転送する仲介者を設定する必要があります。これにより、既存のAPIを書き換えることなく、Anypoint PlatformのAPI管理機能を活用できます。

プロキシをすばやく作成し、さまざまなセキュリティおよびガバナンス ポリシーを適用するように構成できます。

セキュリティと管理:

プロキシを作成すると、レート制限、認証、監視などの Anypoint Platform の機能を使用して API を保護できます。

この方法は時間効率が高く、大幅な再開発作業なしで Anypoint Platform の強力なセキュリティ機能を活用できます。

参考文献:

Anypoint Platform API プロキシドキュメント

最新問題: 18

RPAプロセスはMuleSoft Composerフローによって呼び出されます。RPAプロセスには、完了までに最大24時間かかる可能性のあるユーザータスクが含まれます。

- A. ベストプラクティスを使用する場合、MuleSoft Composer では結果をどのように使用すればよいでしょうか?
- B. RPA プロセスが完了したときに開始される 2 番目の MuleSoft Composer フローを作成します。
- C. スケジュールに従って実行され、RPA プロセスが完了したかどうかを確認する 2 番目の MuleSoft Composer フローを作成します。
- D. RPA プロセスが完了するまで待機し、REST API 経由で 2 番目の MuleSoft Composer フローを呼び出します。
- E. RPA プロセスが完了するまで待機し、同じ MuleSoft Composer フロー内で結果を使用します。

Answer: ([解答を表示する](#))

RPA プロセスに、完了までにかなりの時間 (最大 24 時間) がかかる可能性があるユーザータスクが含まれる場合は、プロセスが完了したら結果を処理するためのフォローアップメカニズムを使用するのが最適です。

2 番目の MuleSoft Composer フロー:

RPAプロセスの完了時にトリガーされる2つ目のMuleSoft Composerフローを作成します。これにより、長時間実行されるRPAプロセスの終了を待つ間、最初のフローが停止することがなくなります。

2 番目のフローは、RPA プロセスの完了ステータスなどのイベントに基づいて開始できるため、結果がタイムリーかつ効率的に処理されます。

トリガーマカニズム:

RPA プロセスを構成し、REST API または別の統合方法を使用して、完了時に MuleSoft Composer に通知します。

ベストプラクティス:

このアプローチは、フローをモジュール化して特定のタスクに焦点を絞ることでベストプラクティスに準拠しており、管理とトラブルシューティングが容易になります。

参考文献:

MuleSoft Composer ドキュメント

MuleSoft RPA ドキュメント

最新問題: 19

RPA Manager を Anypoint Platform アカウントに接続するには、どの接続アプリケーションスコープを使用する必要がありますか?

- A. アプリケーション作成者
- B. API カタログ コントリビューター
- C. RPAインテグレーター
- D. Exchange管理者

Answer: ([解答を表示する](#))

RPA Manager を Anypoint Platform アカウントに接続するには、適切な接続アプリケーションスコープが RPA Integrator である必要があります。

RPA インテグレーターの範囲:

RPA Integrator スコープは、RPA Manager と Anypoint Platform を連携するために必要な権限を付与するように設計されています。このスコープにより、接続されたアプリケーションは RPA Manager と連携し、RPA プロセスを管理できるようになります。

接続されたアプリケーションの構成:

Anypoint Platform で接続アプリケーションを設定するときは、RPA インテグレータ スコープを選択して、統合が必要に応じて RPA プロセスにアクセスして管理できるようにします。

参考文献:

MuleSoft RPA ドキュメント

Anypoint Platform 接続アプリのドキュメント

最新問題: 20

AnyAirlinesは、レガシーシステムから情報を抽出するためのRPAプロセスを開発しています。手作業によるワークフローを記録するために、RPA Recorderを活用しています。

自動生成されたワークフローコードを使用する場合、どの2つのベストプラクティスに注意する必要がありますか?

(2つ選択してください。)

- A. 自動キャプチャされたすべての情報は、ドキュメント化のみを目的としています。
- B. 一部の自動生成されたコードは、より堅牢な、または特殊なアクションステップに置き換える必要があります。

C. 自動生成されたワークフローには、削除する必要がある機密情報が含まれている可能性があります。

D. 自動生成されたコード内のすべてのキーストロークとマウス クリックは、本番環境に展開する前に無効にする必要があります。

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

RPA レコーダーを使用して RPA プロセスを開発する場合は、自動生成されたワークフロー コードに関する次のベスト プラクティスに留意することが重要です。

自動生成されたコードを置き換える:

堅牢性: 自動生成されたコードの一部は、堅牢性や特定のユースケース向けに最適化されていない可能性があります。信頼性と精度を確保するには、自動生成されたワークフローの一部をレビューし、より堅牢な、または特化したアクションステップに置き換える必要があることがよくあります。

特殊化: プロセスの特定の要件に合わせてワークフローをカスタマイズすると、パフォーマンスが向上し、例外をより適切に処理できるようになります。

機密情報を削除する:

機密データ: 自動生成されたワークフローは、ユーザー名、パスワード、その他の機密データなどの機密情報を取得する可能性があります。セキュリティとコンプライアンスを維持するために、RPAプロセスを本番環境に展開する前に、これらの情報を特定し、削除またはマスキングすることが重要です。

コンプライアンス: 機密情報が適切に処理されるようにすることは、データ保護規制と組織のポリシーを遵守するのに役立ちます。

参考文献:

MuleSoft RPA ドキュメント

最新問題: 21

AnyAirlines では、運用中の Salesforce 環境に MuleSoft Composer がインストールされています。

複数の非本番環境でデータを使用してフローをテストするには、ハイパーオートメーションスペシャリストは何をする必要がありますか?

A. Composer UI 内の各非本番環境への接続を作成します。

B. 非本番環境の Salesforce 環境ごとに MuleSoft Composer をインストールします。

C. MuleSoft Composer を 1 つの非本番環境 Salesforce 環境にのみインストールし、他のすべての非本番環境へのプロキシを作成します。

D. 非本番環境のデータは MuleSoft Composer では利用できないため、モック データを使用します。

Answer: [A \(メッセージを残す\)](#)

接続の作成: 複数の非本番環境のデータを使用してフローをテストするには、MuleSoft Composer UI 内で各環境への接続を作成する必要があります。これにより、Composer は

異なる環境間でデータにアクセスして操作できるようになり、包括的なテストが可能になります。

参考:MuleSoft Composer 接続

非本番環境での Composer のインストール: 各環境に Composer をインストールすることは技術的には可能ですが、個別の接続を作成する方が効率的で、ベスト プラクティスに準拠します。

参考:Composer のセットアップと構成

モック データの使用: モック データは初期テストには役立ちますが、実際の非本番環境に接続すると、より現実的なテスト シナリオが得られます。

参考:模擬データを使ったテスト

プロキシ設定:Composer が直接接続をサポートしている場合、他の環境へのプロキシを作成するのは複雑で不要です。

参考:プロキシ設定

最新問題: 22

Northern Trail Outfitters (NTO)は、SalesforceとMuleSoftを活用したハイパーオートメーションソリューションを構築しています。Salesforce管理者は、ケースレコードの作成後に1人のユーザーが実行する、包括的で複数ステップのプロセスを自動化する必要があります。

この要件を満たすには、Salesforce Flow ソリューションをどのように構築する必要がありますか？

- A. ユーザー入力と条件付きロジックを処理して Salesforce のプロセスを自動化する自動起動フロー
- B. ステージとステップを使用して自動化されたアクションを整理し、ユーザー入力を処理する単一フローオーケストレーション
- C. ユーザー入力を処理する画面フローと、バックエンドステップを自動的に処理する自動起動フロー
- D. 自動化されたアクションを整理し、再利用可能なコンポーネントを生成するためのサブフローを含む親フロー

Answer: B (メッセージを残す)

Northern Trail Outfitters (NTO) の包括的で複数ステップのプロセス自動化要件に対応するには、ステージとステップを使用する単一フロー オーケストレーションが最適なソリューションです。

Salesforce のフロー オーケストレーション:

ステージとステップ: フロー オーケストレーションを使用すると、Salesforce 管理者はフローをステージ (プロセスのさまざまな部分を表す) とステップ (各ステージ内の個々のアクション) に構造化して、高度な自動化を構築できます。

ユーザー入力と自動アクション: ステージとステップを活用することで、Salesforce Flow Orchestration はユーザー入力とバックエンドの自動ステップの両方をシームレスに処理し、プロセス全体を効率的に自動化および整理することができます。

エラー処理と条件付きロジック:条件付きロジックとエラー処理も可能になり、自動化プロセス中に発生する可能性のあるさまざまなシナリオにフローが適応できるようになります。

包括的なプロセス自動化:

単一ユーザーによる実行:要件では、ケースレコードの作成後に単一ユーザーがプロセスを実行するように指定されているため、複数のフローや複雑な構成を必要とせずに、エンドツーエンドのプロセスを構造化された方法で管理できるフローオーケストレーションが最適です。

参考文献:

Flow Orchestration に関する Salesforce ドキュメントには、このようなソリューションを設計および実装する方法に関する詳細な情報が提供されています。

最新問題: 23

MuleSoft Composer を使用して実装する必要がある統合プロジェクトの種類はどれですか?

- A. 画像認識を使用したUIインタラクションの自動化
- B. 非技術者によるソースシステムからターゲットシステムへのデータ変換
- C. バッチステップ内で条件付きロジックを使用して、メモリを超えるファイルをバッチ処理します。
- D. 手動の手順とユーザーによる承認を必要とする長時間実行されるワークフロー

Answer: B (メッセージを残す)

MuleSoft Composerは、ビジネスユーザーが深い技術的知識を必要とせずに統合を作成できるように設計されています。次のようなシナリオに最適です。

データ変換と統合:

技術者以外のユーザーでも、コード不要のインターフェースを使用して、さまざまなシステムを簡単に接続し、データ転送を自動化し、あるシステムから別のシステムにデータを変換できます。

MuleSoft Composer は、これらの統合を設定するための事前に構築されたコネクタと直感的なインターフェースを提供します。

簡素化された自動化:

このプラットフォームは、複雑なコーディングを必要としない、簡単なルールベースの自動化を作成するために最適化されています。

したがって、技術者以外のユーザーによるデータ変換タスクの自動化は、MuleSoft Composer の機能に完全に適合します。

参考文献:

MuleSoft Composer ドキュメント

Valid Mule-Dev-202 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing Mule-Dev-202 Exam! GoShiken.com now offer the **newest Mule-Dev-202 exam dumps**, the GoShiken.com Mule-Dev-202 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com Mule-Dev-202 dumps with Test Engine here: <https://www.goshiken.com/Salesforce/Mule-Dev-202-mondaishu.html> (62 Q&As Dumps, **30%OFF** Special Discount: **Freepdfdumps**)